

「聖霊の降臨」
使徒言行録 2 章 1-13 節

2023.5.7

●**アウトライン**

1. 聖霊による力を受ける
 - ・五旬祭（七週祭）とは
 - ・「激しい風と音」また「炎」とは
 - ・聖霊による「力」とは
 - ・私たちの心を変化させ、信仰のともし火を燃え立たせる、聖霊の「風」と「火」
 - ・キリストの証人として歩む私たち
2. 地の果てに至るまで
 - ・「炎のような舌」、「ほかの国々の言葉で話した」とは
 - ・神の救いの福音は全世界へ
 - ・「地の果てに至るまで」の福音宣教
 - ・私たちにしか届けられない、地の果てを生きる人々がいる。

●**聖書箇所**

【出エジプト記 19 章 18-19 節、旧約 125 ページ】

「シナイ山は全山煙に包まれた。主が火の中を山の上に降られたからである。煙は炉の煙のように立ち上り、山全体が激しく震えた。角笛の音がますます鋭く鳴り響いたとき、モーセが語りかけると、神は雷鳴をもって答えられた。」

【使徒言行録 1 章 8 節、新約 213 ページ】

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」

【テモテへの手紙二 1 章 3-8 節、新約 391 ページ】

「そして、あなたが抱いている純真な信仰を思い起こしています。その信仰は、まずあなたの祖母ロイスと母エウニケに宿りましたが、それがあなたにも宿っていると、わたしは確信しています。そういうわけで、わたしが手を置いたことによってあなたに与えられている神の賜物を、再び燃え立たせるように勧めます。神は、おくびょうの霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊をわたしたちにくださったのです。だから、わたしたちの主を証しすることも、わたしが主の囚人であることも恥じてはなりません。むしろ、神の力に支えられて、福音のためにわたしと共に苦しみを忍んでください。」